

## 2019年度 認定留学 留学報告書

国際交流学科 2年

留学先：韓国 延世大学

留学期間：2019年8月～2020年3月

私は延世大学韓国語学堂に半年間留学した。この語学堂は授業の進行が早くてとにかく課題の量が多い。他の大学に留学している友人は、授業が終わった後、気楽に外で出で遊んでいる様子が多く見受けられたが、私はそれどころではなかった。毎日授業の予習復習、宿題や課題で全て終わるのがいつも8時頃であった。それでも一年間で韓国語能力試験（TOPIK）の6級を取得したかった私は必死で勉強した。一日の授業が4時間で残りの時間の方が圧倒的に多い。その残りの時間で自分の苦手なスピーキングを重点的に向上させることを常に意識していた。そこで、二人のクラスメイトの存在がとても大きかった。一人は台湾から、一人は中国から留学に来ていた。どちらも同じクラスとは思えないほど韓国語を流暢に話し、発音からイントネーションまで様々なことを二人から学んだ。授業だけでは補えない部分を学んだ私は、二人との会話で徐々に韓国語を話すことに抵抗感や羞恥心、恐怖心がなくなっていることに気付き、自分に自信が持てるようになっていた。自分に自信が持てるようになってからは、何事にも挑戦する意欲が増してくる。そこで私は、言語の重要性を知った。その国の言語が話せる話せないでこんなにも周りの世界が違って見え、コミュニケーションの幅が広がって毎日が楽しくなるのである。私は、自分に自信が持てたことにより積極的に発言するようになったことで、更にスピーキングの力が向上していった。それは、もちろん成績にも繋がっていった。先生もこの成長ぶりに驚いているのを私は今でも鮮明に覚えている。そして現在私は、二人のクラスメイトと出会ったことで韓国語だけでなく中国語にも関心を抱き、現在は中国語も勉強している。中国語は韓国語と似た部分があり、韓国語は日本語と似た部分があり、3カ国が繋がって見えてまた更に好奇心が増え続ける。これらを見ると、言語を学ぶことは本当に楽しいことであり、視野が広がって行く自分がとても生き生きしているように感じられる。

最近、様々な所で留学という言葉が目に入ってくるが、私がこの半年間を通して感じたことは、確かに学ぶ面に関してはとても興味深いのが、実際留学をして言語を学ぶということは本当に大変で難しいことであるということだ。私は、留学の前準備、留学に行ってからの手続き、帰国後の書類まとめ等全て一人でこなすことがとても大変であった。これも留学の一部だと思って自分自身で行うことに意味があり、これらを疎かにしてはならない。このような大変なことも乗り越え、自分に自信を持つことで世界が広がり、充実した留學生活を私は送ることができたのである。